

星空ニュース 2021. 2月の星空

上旬:21時頃 中旬:20時頃 下旬:19時頃

A horizontal row of four yellow stars of varying sizes, arranged from left to right. The first star is small, the second is medium, the third is large, and the fourth is very large.

2/ 5	下弦
2/12	新月
2/19	月と火星が並ぶ
2/20	上弦
2/24	水星、木星、土星が並ぶ (明け方、東の低い空)
2/27	満月



ワンポイント星座



いっかくじゅう座

冬の大三角の中に位置するいっかくじゅう座。明るく目立つ星はないものの、バラ星雲やコーン星雲などの魅力的な天体があります。一角獣（ユニコーン）とは、ひたいに1本の角を持ち、馬のような姿をした想像上の動物です。その角には病を治す不思議な力があるとも伝えられています。



ペガロク ©dwarf/ 多摩六都科学館

今月のポイント 未来人が見る(かもしれない)星空



多摩六都科学館のプラネタリウムは、コンピューター更新のため1月25日から2月15日までお休みいたします。

休み明け最初の全編生解説プラネタリウムでは、「デジタル式プラネタリウム」の機能をふんだんに使って10万年後や50億年後といった「はるか先の未来」の星空を再現します。星座の星々は、地球は、そして人類はどうなっているのでしょうか？数時間後の「近い未来」をご案内する、今夜の星空解説とともにをお楽しみください。



星はいくつ見える？ 「すばる」を眺めよう

おうし座の背中のあたりに、プレアデス星団という淡い星の集まりがあります。日本では「すばる」とも呼ばれます、この言葉は「集まって1つになる(統^キばる)」という意味を持ちます。古くから知られていた天体で、清少納言が記した「枕草子」にも登場します。星を見る場所の周辺の明るさや視力によって個人差はありますが、街中でも肉眼でいくつかの星が集まって輝く様子を見ることがあります。ご自宅の近くから、または山奥などの暗い場所から、すばるの星々はどのように見えるでしょうか。ぜひ、色々な場所ですばるをご覧ください。

